

平成 22 年度 普及に移す農業技術（第 2 回）

- [分類] 普及技術
- [成果名] 水稻初期除草剤アルハーブフロアブルは水田一年生雑草防除に有効である
- [要 約] 移植水稻にアルハーブフロアブルを植代時から移植前 4 日または移植直後からノビエ 1 葉期までに 500ml / 10a 処理し、中期剤との体系処理とすることで効果的な雑草防除が可能である。
- [担 当] 農業試験場作物部
- [部 会] 作物部会

1 背景・ねらい

効果の高い水稻用初期除草剤を選定する。

2 成果の内容・特徴

- (1) 移植水稻にアルハーブフロアブルを植代時から移植前 4 日または移植直後からノビエ 1 葉期までに 500ml / 10a 処理し、中期剤との体系処理とすることで効果的な雑草防除が可能である。

農薬登録内容

アルハーブフロアブル

[一般名および成分含有量] テニルクロール 4 %

[毒性] 人畜毒性：普通物 [魚毒性] : B 類

[対象作物に対する適用登録状況] (平成 23 年 2 月 7 日現在 J P P - N E T 確認)

作物名	適用雑草名	使用方法	適応土壌	使用時期	10a 当たり 使用量	本剤の使用 回数
移植水稻	水田一年生雑草及びマツバイ	原液湛水 散布（田 植同時散 布機で施 用）	砂壤土～ 埴土	植代時～移植前 4 日 又は移植直後～ノビ エ 1 葉期（但し移植 後 30 日まで） マツ バイは移植直後～ノ ビエ 1 葉期	500ml / 10a	1 回

3 利用上の留意点

- (1) 利用上の留意事項は、「農作物病害虫・雑草防除基準（長野県）」の他の初期除草剤を参照する。

4 対象範囲

県下全域

5 具体的データ

- (1) 平成 21 年、農業試験場では、移植直後処理で薬害なく、移植後 20 日のノビエほか一年生雑草に効果が認められた（表 1、2）。その後、中期除草剤の体系処理で実用的な雑草防除効果が得られた（データ略）。

表 1 アルハーブフロアブル処理による水稻生育への影響（平成 21 年、農業試験場）

除草剤名	処理時期	処理量	薬害			草丈 cm	莖数 本/m ²	出穂期 月/日
			症状	程度	回復の 遅速			
アルハーブフロアブル	+ 0 日	500ml	-	無	-	64	649	7/31
エリジャン乳剤	+ 0 日	500ml	-	無	-	65	606	7/31
無処理	-	-	-	-	-	61	306	7/28

注) 農業試験場水田ほ場（標高 340m、中粗粒グライ土）、「あきたこまち」中苗 3 本植 (22.2 株 / m²)、代かき：6 月 11 日、移植：6 月 29 日調査、1 区 7.2m² 2 区制、処理時期の + は移植後日数、- は移植前日数、以下の表同じ。

表 2 アルハーブフロアブルの雑草防除効果（平成 21 年、農業試験場）

除草剤名	処理時期	ノビエ	コナギ	タマガヤツリ	アゼナ	他一年 生広葉	マツバ イ	合計	(ホタル イ)
アルハーブフロアブル	+ 0 日	0	t	0	t	t	0	t	(5)
エリジャン乳剤	+ 0 日	0	t	0	t	t	0	t	(t)
無処理	-	66.61	1.98	0.11	0.39	9.41	t	78.50	81.29

注) 除草剤各処理の数値は風乾重無処理区対比%、無処理区は乾物重 g / m²、移植後 20 日調査、記号 t は trace (痕跡程度) の残存を示し、以下同様。

(2) 平成22年の農業試験場では、移植前処理により軽微な薬害が見られたが、回復が早かった。(表3)。初中期剤との体系処理によりノビエ他一年生雑草およびホタルイの除草効果は高かった(表4)

表3 アルハーフロアブル処理による水稲生育・収量への影響 (平成22年、農業試験場)

除草剤名	処理時期	処理量	薬害			草丈 cm	茎数 本/m ²	穂数 本/m ²	出穂期 月/日	精籾重 kg/10a	同左標 準比%
			症状	程度	回復の 遅速						
アルハーフロアブル+初中期剤	-4日 +15日	500ml 500ml	生育抑制	極微	早	55	492	459	8/2	791	94
アルハーフロアブル+初中期剤	ノビエ1葉期 +15日	500ml 500ml	-	無	-	53	583	453	8/2	808	96
エリジャン乳剤+中期剤	+0日 +20日	300ml +1kg	生育抑制	極微	早	54	597	471	8/2	840	100
無処理	-	-	-	-	-	54	244	132	7/30	235	28

注) 農業試験場水田ほ場(標高340m、中粗粒グライ土)、「あきたこまち」中苗3本植(22.2株/m²)、代かき:5月20日、移植:5月24日、初中期剤はテロスフロアブル、体系除草はエリジャン乳剤 ザーベックスD X 1キロ粒剤、草丈・茎数は7月1日調査、1区7.2m²区制

表4 アルハーフロアブルの雑草防除効果 (平成22年、農業試験場)

調査時期	除草剤名	処理時期	ノビエ	タマガ ヤツリ	コナギ	アゼナ	キカシ グサ	ミソハ コベ	マツバ イ	ホタル イ	合計	(ホタル イ)
移植後15日	アルハーフロアブル	-4日 +15日	0	0	0	t	0	0	0	-	t	(1)
	アルハーフロアブル	ノビエ1葉期	0	0	0	t	0	0	0	-	t	(5)
移植後20日	エリジャン乳剤+中期剤	+0日	0	0	0	t	0	0	0	-	t	(t)
	無処理	-	56.82	1.28	11.01	3.39	0.28	9.79	t	-	25.74	(66.66)
移植後40日	アルハーフロアブル+初中期剤	-4日 +15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	アルハーフロアブル+初中期剤	ノビエ1葉期 +15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	エリジャン乳剤+中期剤	+0日 +20日	0	0	0	0	0	0	0	t	t	-
	無処理	-	69.61	0.78	28.63	9.12	2.34	9.56	t	93.46	213.50	-

6 特記事項

[公開] 制限なし。

[課題名、研究期間、予算区分]

普通作物の新規農薬等の効果試験、平成21、22年度(2010、2011年度)、民間受託